

オンライン共同分担目録方式 の最適化に向けて

-国立国会図書館「公共的書誌基盤」活用可能性の検討-

山本 豪(鳴門教育大学)

H24.1.26

問題と目的

- 目録作業には高いコストがかかっている
- しかも作業内容が他機関(NDL等)と重複している
- 外部書誌データのより一層の活用が検討されるべき
- 2009年度に行われた事前登録書誌事業は同様の考えのもとに行われたが、その方法はやはり人的コストをかけるものであった

外部書誌データを最大限に活用＝直接本番データに投入することを考えた場合の課題を確認したい

作業課題

- ・ 国立国会図書館の提供する「公共的書誌基盤」書誌をソースデータに想定し，データ変換のためのマッピング表を作成する
- ・ 作成したマッピング表より，国立国会図書館の書誌をCATに適用するにあたっての課題を見出す

現行CATにおける図書目録業務

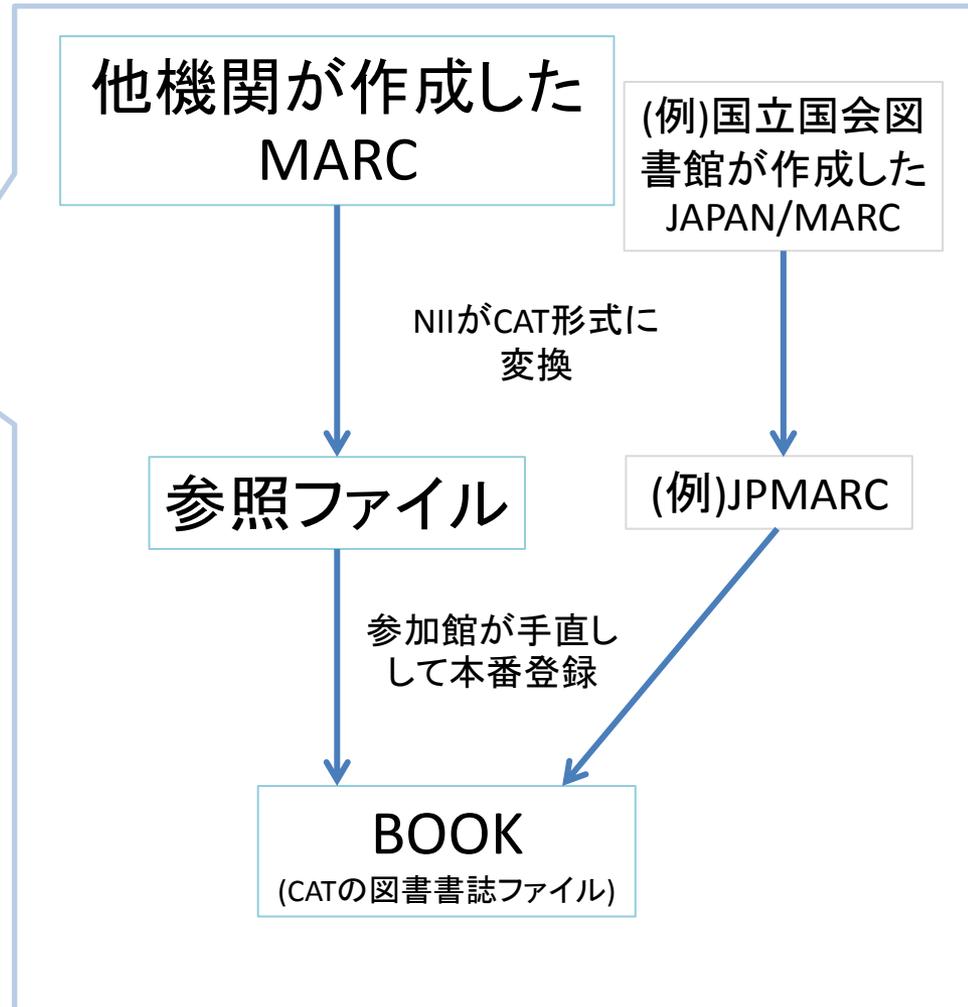
・参加館はCATの書誌データベース(BOOK)を検索して、書誌がなかったら作り(他館が既に作っていたらそれを使う)、所蔵を登録する

・目録業務軽減のため、参照ファイルの書誌データを手直して書誌を作れるような用意がされている

※参照ファイル:業者や他の図書館が作成したMARC(書誌データの集合)をCATに合う形に変換したもの。

H22年度に

- ・CATで作成される国内出版物の書誌の数は約140,000件
- ・うち参照ファイルJPMARCを利用して作った書誌数は約25,000件
- ・JPMARCに追加された書誌の数は約180,000件



公共的書誌基盤とは？

2010年春、活字文化議員連盟や日図協等の団体から書誌データに関する要望が表明

「我国を代表する書誌データの一元化に努める」「書誌データの一元化はNDLのJAPAN/MARCによるべき」「標準MARCはもっと迅速に提供されるべき」「標準MARCは無償もしくは低廉な価格で供給されるべき」

NDL：「NDLの書誌情報を迅速にかつ無償で公共図書館、学校図書館等に提供し、広く社会で活用されることを目指す『公共的書誌情報基盤』の推進を行っていくこととしました」

迅速

これまでは納本～書誌データ提供までに30日以上かかっていた

無償

日図協経由でJAPAN/MARCの週次提供を受けると42万円/年

迅速の実現

新着書誌情報
(作成中書誌)



作成完了書誌

の2段階構えで実現



納本された資料に対応するデータを出版情報(日版MARC, 東販MARC)から抜き出し, 新着図書情報として提供してしまおう(納本後3,4日後・実際は多少の修正が入ってから提供されている?)



書誌作成完了時期の目安は納本から30~40日, これは縮められない

信頼性?

出版流通に使われる情報なのでいい加減なことはないが, ソースによって記述ルールは異なる可能性があるし, もちろんNDLのルールに沿ったものでもない

迅速性?

図書(取次経由)の納入率は
出版後30日経過時点で88%
⇒1年経過時点で99%

無償の実現

様々なインタフェースを用意

- 業者を介さず提供することで無償を実現
- 商用の大量利用への対応については検討中
- 有償JAPAN/MARCは存続

第一段階：NDL新着図書情報(テキスト版)の提供[2010.10～2011.11・終了済]

- 新着図書情報[13項目限定]をテキストファイルで提供

第二段階：NDLサーチでの提供[2010.8より“開発版”として稼働・2012.1.6本格稼働開始]

- OAI-PMHやRSSによる提供が可能(仕様書上は他にSRU・SRW・OpenURL・Z39.50に対応)
- 出力形式：DC-NDL
- 対象：すべての納本資料に関する新着書誌情報・作成完了書誌

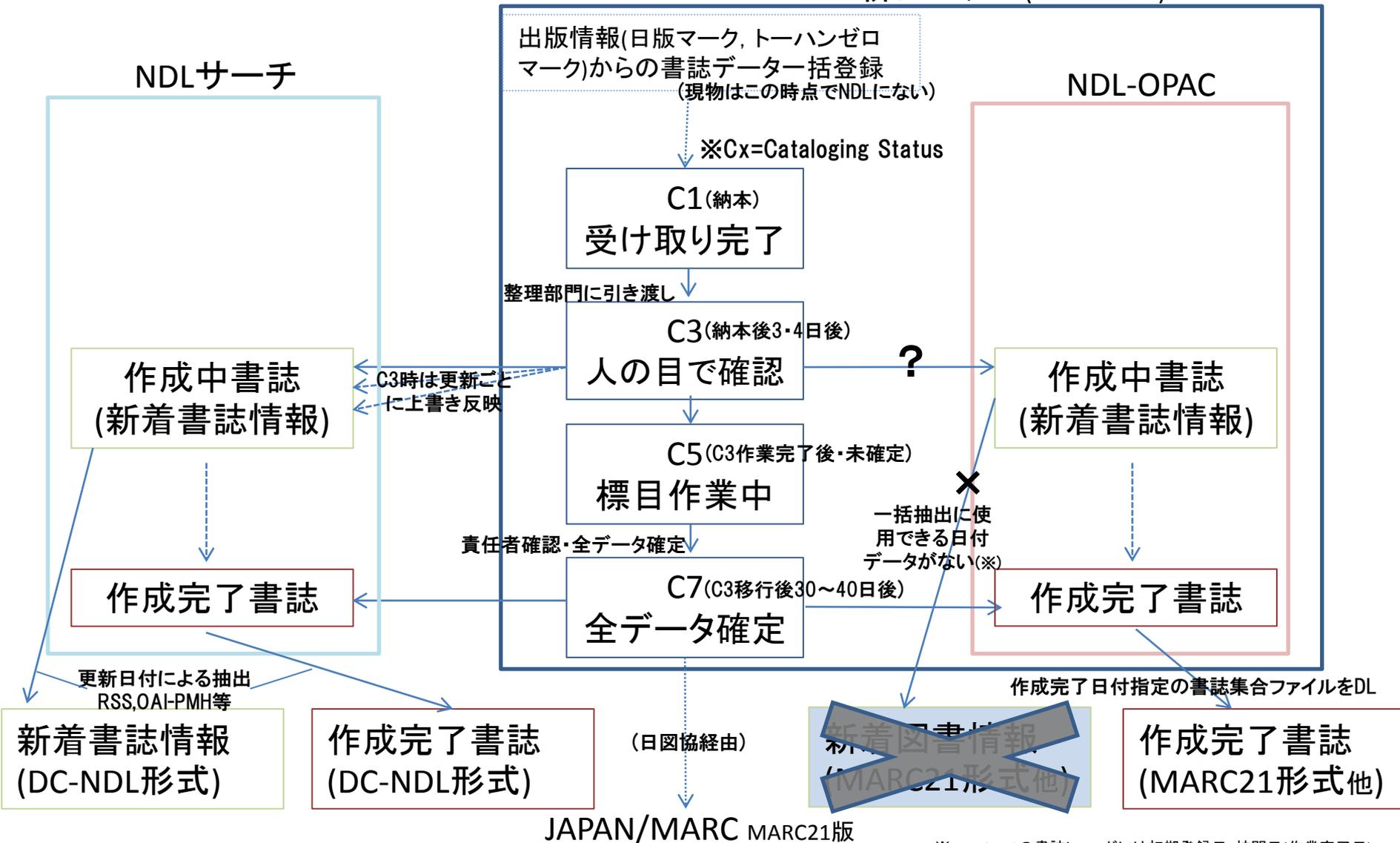
第三段階：新NDL-OPACでの提供[2012.1.6稼働開始]

- NDLサーチのような多様なインタフェースはないが、検索結果からのDLが可能。
- “最近7日分”といった日付指定による集合を作り、一括DLできる仕組が用意される予定。
- 出力形式：MARC21,他(MARC21形式版はJAPAN/MARC MARC21版と同様のもの)
- 対象：すべての納本資料に関する新着書誌情報・作成完了書誌
(ただし日付指定による一括DLが可能なのは作成完了書誌のみ)

2012.1.26
現在

NDLのフロー

NDL新システム(2012.1.6~)



※NDL-OPACの書誌レコードには初期登録日・校閲日(作業完了日)・最終更新日があるが、C3移行日がないので抽出できないとのこと

新着書誌情報の例

国立国会図書館サーチ [ログイン](#) [設定](#) ?

[検索結果に戻る](#) ジャンル: [5.技術](#) > [58.製造工業](#) > [589.その他の雑工業](#)



図書

プロになるためのゲームプランニングの教科書《基礎》

瀬古英司 著

詳細情報

(書誌作成中)

タイトル: プロになるためのゲームプランニングの教科書《基礎》

著者: [瀬古英司 著](#)

著者標目: [瀬古, 英司, 1973-](#)

出版地(国名コード): JP

出版地: 東京

出版社: 技術評論社

出版年: 2012

大きさ、容量等: 191p ; 21cm

注記: 索引あり

ISBN: 9784774149349

入手条件・定価: 2280円

NS-MARC番号: 130603600

出版年月日等: 2012.1

件名(キーワード): [コンピュータ・ゲーム](#)

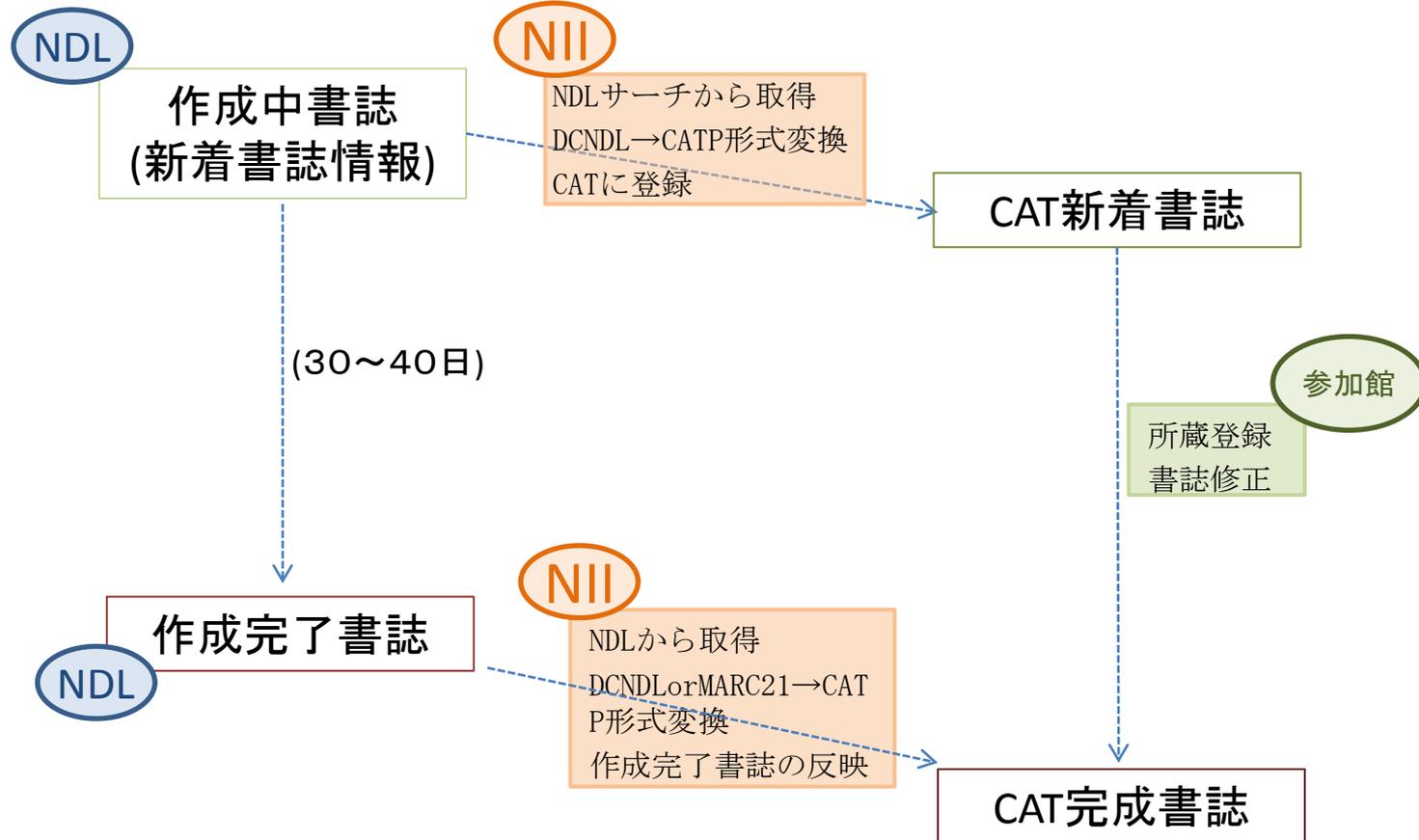
NDC(9版): 589.77 : その他の雑工業

対象利用者: 一般

資料の種別: 図書

言語(ISO639-2形式): jpn : 日本語

運用イメージ



新着書誌情報マッピング表 の作成と検討

- ・ ソースデータにはOAI-PMHにより取得できるDCNDL-RDF形式のデータを想定
- ・ CATPの項目リストをベースにしたマッピング表A(別紙1)とDCNDL-RDFの項目リストをベースにしたマッピング表B(別紙2)を作成
- ・ 2つのマッピング表でどのように項目を割り振れるか、主にCATのマニュアルで重要とされる項目を中心に検討
- ・ 各マッピング表の右端列の記号がそれぞれの検討結果

見えてきた課題

①NDLとCATで互いに想定していない項目がある

②NDLの提供するデータとCATが必要としている
情報の内容・粒度が異なる場合がある

③機械的に特定の項目に対応させられない項目がある

④NDLとCATでは書誌作成単位が異なる

課題①NDLとCATで互いに 想定していない項目がある

- CATが必要としている項目がNDL側がない
…TTL (タイトル言語コード)
- NDLが提供している項目のマッピング先がCATがない
…外部レコードID・標準番号等

既存項目と想定外項目の両方について、
必要性の検討が必要

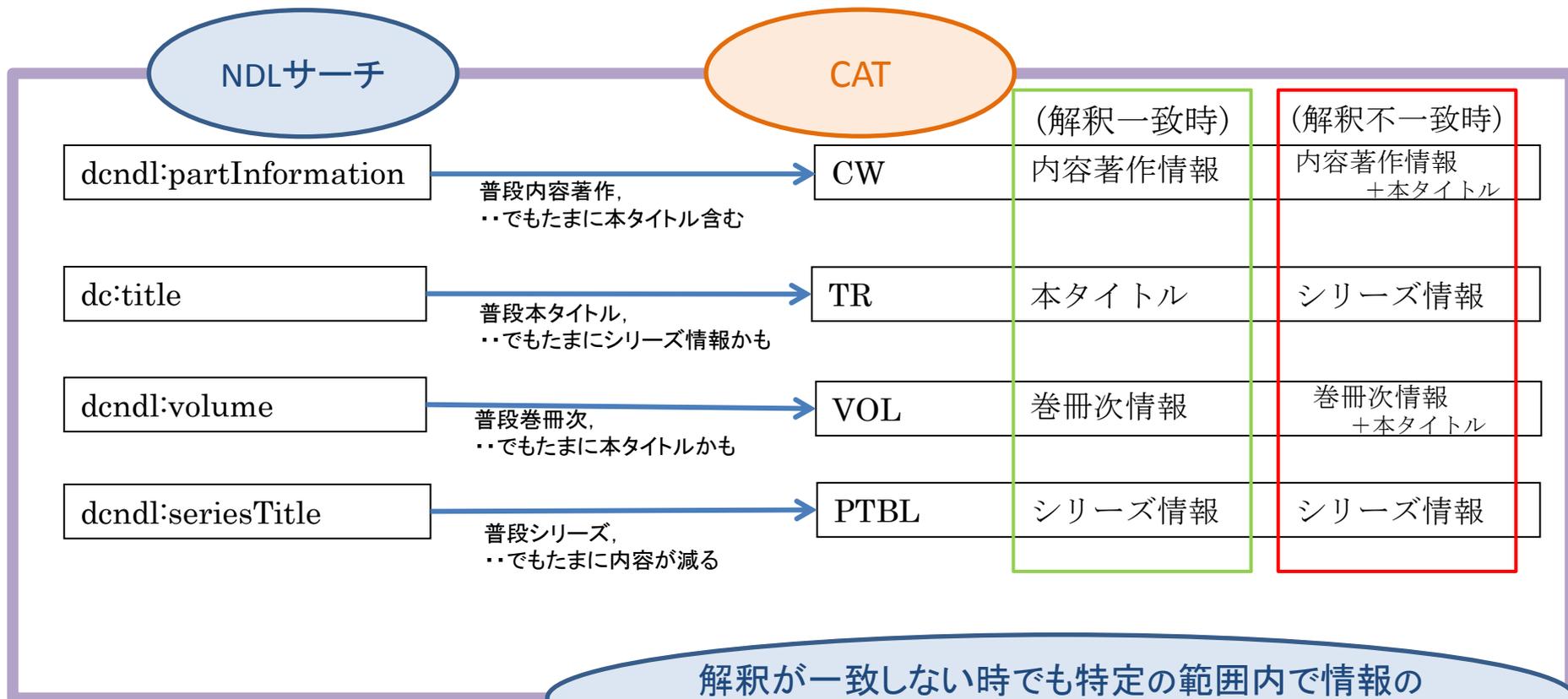
課題②NDLの提供するデータとCATが必要としている情報の内容・粒度が異なる場合がある

- 互いに項目として存在するが粒度が異なる
…GMD/SMD (資料種別コード)
- 互いに項目として存在するが変換時
(MARC21→DC-NDL→CATP)にロスが発生する可能性がある
…CNTRY (出版国) ・ GMD/SMD (資料種別コード)

どんな情報がどんな粒度で必要なのか、
あらためて検討が必要

変換ロスを最小限にするためにNDLと濃密な
コミュニケーションが必要

課題③機械的に特定の項目に対応させられない項目がある



解釈が一致しない時でも特定の範囲内で情報の配置場所が異なるだけで内容的な欠損はない

より詳細な条件分析・設定による機械処理の可否についての検討が必要

課題④書誌作成単位が異なる

NDL

同じタイトルでも巻次が違えば
1冊ずつ個別に書誌を作るのが原則

タイトル: ×物語
VOL: 1巻

タイトル: ×物語
VOL: 2巻

タイトル: ×物語
VOL: 3巻

タイトル: ×物語
VOL: 4巻

CAT

同じタイトルなら1書誌にまとめて扱うのが原則

タイトル: ×物語

VOL: 1巻

VOL: 2巻

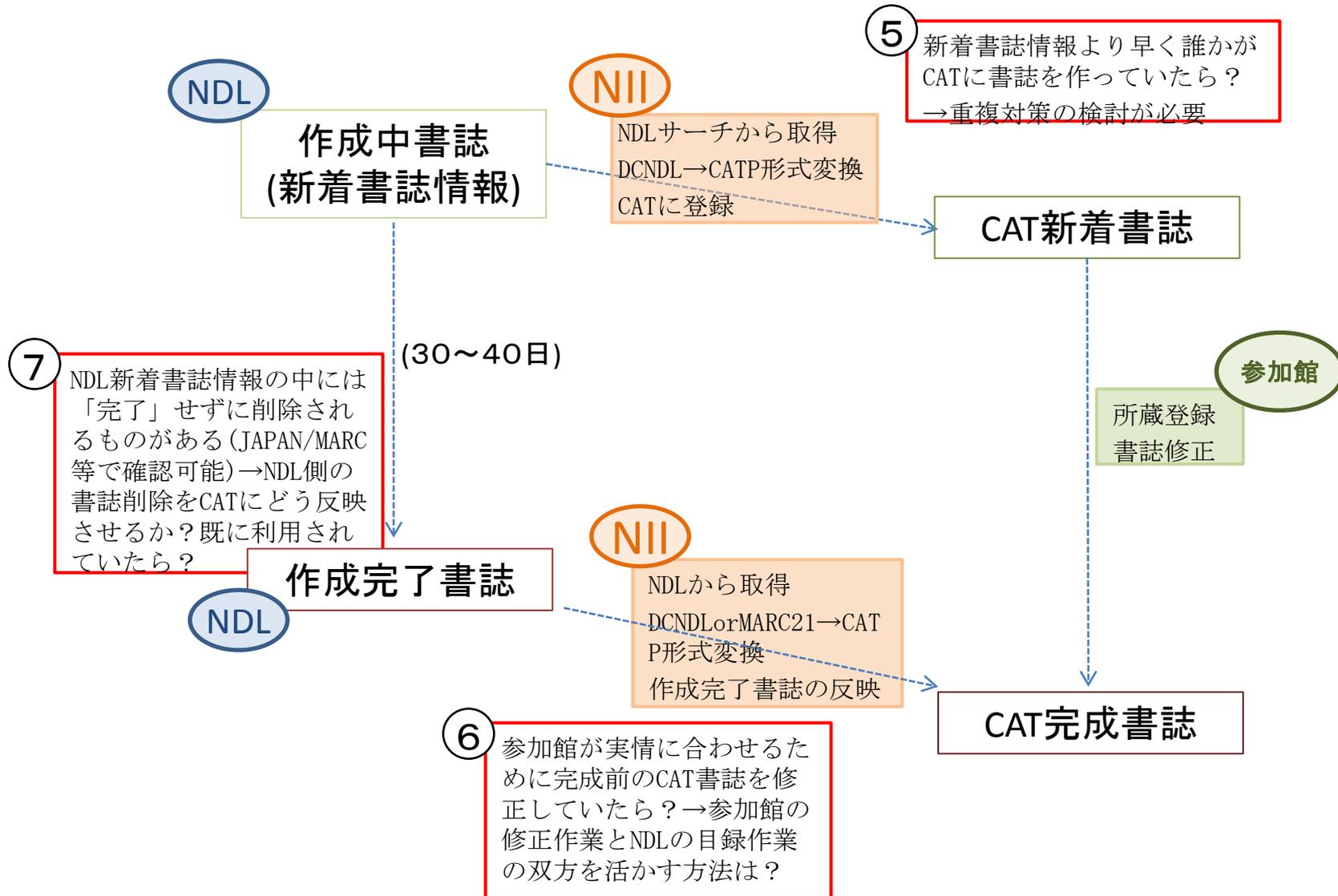
VOL: 3巻

そのままコピーすると
現在のCATの原則からは外れる

タイトル: ×物語
VOL: 4巻

機械処理により
どのような対処ができるかの検討が必要

再度、運用イメージ



「公共的書誌基盤」書誌データの
NACSIS-CATへの直接投入は
可能なのか？